

令和2年度
市町村支援技術者養成事業
報告書

令和3年2月

一般社団法人 全国林業改良普及協会

目 次

事業のあらまし	1
I. 事業の目的	2
II. 事業の内容	2
1. カリキュラム等、検討業務	2
2. 森林経営管理制度円滑化対策研修	2
3. 技術力維持・向上対策研修	2
4. 情報共有ネットワーク化	2
III. 事業の年間スケジュール	3
1. 森林経営管理制度円滑化対策研修	4
2. 技術力維持・向上対策研修、情報共有ネットワーク化	5
森林経営管理制度円滑化対策研修	7
I. 森林経営管理制度円滑化対策研修の目的	8
II. 研修カリキュラムの構築	8
1. カリキュラム構築にあたっての考え方	8
2. カリキュラムと個別研修項目の内容	10
III. 研修の実施方法	13
1. 運営体制	13
2. 研修の開催県	13
3. 研修の準備	13
4. 受講生への連絡	14
5. 事前課題の受取	14
6. 新型コロナウイルス感染対策	14
7. 研修実施に当たっての事前調整	15
IV. 研修実施結果	17
1. 研修の実施概要	17
V. 森林経営管理制度円滑化対策研修の実施状況	24
①北海道・東北ブロック	25
②関東ブロック	30
③中部・近畿①ブロック	35
④中部・近畿②ブロック	40
⑤西日本ブロック	45
⑥四国ブロック	50
⑦九州ブロック	55
VI. アンケートからみる研修の成果	60
1. アンケート結果の概要	60
VII. 研修の実施における課題と改善点	66
森林経営管理制度円滑化対策研修・参考資料	69
1-1 森林経営管理制度円滑化対策研修アンケート調査票	70
1-2 森林経営管理制度円滑化対策研修ふりかえりシートの様式	72
1-3 各ブロックの評価アンケート調査票	75
1-4 ブロック事務局名簿	117
1-5 新型コロナウイルスに対応した森林経営管理制度円滑化対策研修の実施方法について	119
1-6 研修における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について	122
1-7 体温・体調等記録用紙例	124

技術力維持・向上対策研修	127
I. 研修の実施概要	128
1. 運営体制	128
2. 技術力維持・向上対策研修の実施概要	128
II. 各ブロックの研修実施状況	145
1. 北海道ブロック	146
2. 東北ブロック	151
3. 関東ブロック	156
4. 中部ブロック	161
5. 近畿中国ブロック	166
6. 四国ブロック	171
III. 主な意見と課題の整理及び総括	176
1. 外部講師の主な意見	176
2. アンケート結果の概要(ブロック別)	179
3. アンケート結果の概要(全体)	185
4. 運営改善報告書の概要	187
5. 実践研修の課題の整理	189
6. 総括	191
情報共有ネットワーク化	193
I. サイトの開設状況	194
1. 市町村支援技術者養成事業ポータルサイト	194
2. 実践研修受講生向けサイト	195
3. 森林総合監理士PRサイト	197
4. 森林総合監理士ネットワークサイト	199
II. 総括	203
技術力維持・向上対策研修・参考資料	205
1-1 実践研修講師リスト(外部講師、林野庁講師)	206
1-2 実践研修修了者名簿	210
1-3 実践研修ふりかえりシートの様式例	212
1-4 実践研修アンケート調査票	214
1-5 実践研修タイムスケジュールの事例	215
1-6 研修における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策について	218
1-7 体温・体調等記録用紙例	220
2-1 安全管理マニュアル	222
2-2 本事業で使用している研修関係用語の説明	233

事業のあらまし

事業のあらまし

I. 事業の目的

森林経営管理制度の円滑な運用に向け、市町村に対し適切な指導・助言等の支援を行う都道府県職員等の技術者を養成・確保するため、森林経営管理制度に対応した研修カリキュラムの検討及び技術者養成のための研修の運営並びに技術者(森林総合監理士等を含む)の技術力の維持・向上を図るための実践的な継続教育の実施等を行う。

II. 事業の内容

1. カリキュラム等、検討業務

(1)カリキュラムの作成

市町村が森林経営管理制度を円滑に運営できるよう、市町村を支援できる都道府県職員等の人材を育成するため、森林経営管理制度円滑化対策研修に係るカリキュラム・講師、研修資料等の研修カリキュラム案(「カリキュラム案」という)を作成するとともに、受講生のアンケート結果の分析や林野庁担当官との打合せ等を基に当該研修の実施結果を考察し、翌年度に向けたカリキュラム案の改善点の整理を行う。

(2)基本テキストの作成

林野庁で企画した原稿を元に、研修等で使用する基本テキストを作成する。

2. 森林経営管理制度円滑化対策研修

市町村が森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、適切な指導・助言等を行う都道府県職員等の技術者を養成することを目的として、森林経営管理制度に基づく意向調査の実施や、経営管理権集積計画の作成、林業経営者への事業発注に関する手法等の技術的な知見等の習得を図るものとし、ブロック単位で講義形式及び対話形式により実施する。

3. 技術力維持・向上対策研修

市町村への指導・助言の役割を担うべき森林総合監理士をはじめとする技術者の技術水準の維持・向上を図ることを目的として、森林経営管理制度、地域の森林・林業の再生、林業の成長産業化等の課題をテーマに、現地検討及び討議等を通じて現場レベルでの課題解決策を共有する研修(「実践研修」という)をブロック単位で実施する。

4. 情報共有ネットワーク化

森林経営管理制度を運営していく上での課題への対応や先進的な地域活動の支援を行うため、森林総合監理士等相互間の情報共有や連携を推進するためのホームページを運営するとともに、森林総合監理士を広く一般にPRするための一般向けのサイトの運営と、森林総合監理士相互間の情報共有に供するための森林総合監理士専用サイト(パスワード等を設定)の運営等を行い、森林総合監理士等のネットワーク構築を行う。

Ⅲ. 事業の年間スケジュール

次頁図のとおりである。

2. 技術力維持・向上対策研修(実践研修)、情報共有ネットワーク化

事業の内容	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	第1週	第2週	第3週	第4週	12月	
技術力維持・向上対策研修(実践研修)	4~8 11~15 18~22 25~28 祝: 4・5・6	1~5 8~12 15~19 22~26 29~7/3	6~10 13~17 20~24 27~31 祝: 23・24	3~7 10~14 17~21 24~28 祝: 10	1~3 2~4 7~8 16~18 8~10 11~13	5~9 12~16 19~23 26~30 祝: 3	2~6 9~13 16~20 23~27 祝: 23											
北海道ブロック																		
東北ブロック																		
関東ブロック																		
中部ブロック																		
近畿中国ブロック																		
四国ブロック																		
その他																		
情報共有ネットワーク化																		

研修準備期間

受講者照会

講師照会、依頼

実践研修外部講師へ意見照会

・受講生や関係者への連絡及び調整
・研修の実施・報告・アンケート集計等、研修の課題抽出

森林総合監理士PRサイト、森林総合監理士ネットワークサイト

森林総合監理士等技術者活動支援事業ポータルサイト、受講生サイト

研修の課題等の整理、事業報告書作成

